

ホワイトスペースを利活用した
地下空間放送局構想
より安全で快適な地下空間の創造＝「地下空間放送局」

2010. 0609
株式会社デジタルメディアプロ

我が国の地下鉄・地下街におけるオリジナルコンテンツをもった放送局構想

オリジナルコンテンツをもった放送局開局には公共性や安全性そして事業性が必要

公共性

※地下鉄／地下街にいても、地上にいる場合と同じ情報を共有

安全性

※災害時の緊急情報伝達手段や運行情報としての活用

事業性

※運行情報等の業務情報／生活に役立つ広告等各種コンテンツ放送、NEWビジネスフロンティアetc…。

地下鉄&地下街



地下街でワンセグ放送も受信可能



コンコースの業務用サイネージへも配信可能



ホーム前のデジタルサイネージへも配信可能

地下空間放送局構想



放送局

災害時の緊急情報/運行情報や
広告/各種コンテンツの放送

携帯やPCへ動画や
静止画も配信可能



車内TVも携帯で視聴可能



車内TVで緊急情報も
ダイレクトに伝達!



電波利用料制度に関する専門調査会 ヒアリングに関して

■質問項目

① 電波利用料の料金について

- ・電波は国民の財産である以上、公共性・社会性・そして何より「安心・安全」な環境をつくる為にあり、国民・利用者の為にあると考えます。
よって、その利用料もその意味合いの深度によって定義されたと考えます。
より「安心・安全」な社会を作るものなら、その負担額の配分も、より大きく勘案しなければならないと思います。
- ・また、「安心・安全」を求めるのは国民・利用者の権利でもあります。
私どもがご提案した「地下空間放送局構想」は、現在も電波の届かない地下空間に「安心・安全」の確保の為、運行情報や災害時の緊急放送に電波を利用して、より多くの人々へ放送をすることを目的としております。
是非とも、ご配慮願います。
- ・オークション制度に関しては、事業性を追求した企業団体の為に利用され、公共の福祉・安心・安全の為のインフラとして利用することが、蔑ろにされる懸念があります。あまり好ましくない制度だと考えます。

② 電波利用料の用途について

- ・電波監視技術や、各帯域での情報量の増大に関する技術は、当然であります、電波遮蔽空間/地域(電波の届かない空間・地域)に関して、一刻も早い整備に、その利用料を使用するが、国として取り組む最大の使命だと思います。
- ・またそれが、公共性・社会性・そして「安心・安全」な環境を作り出すものであるなら、なおさらのことです。
ご検討の程、よろしくお願いいたします。